

言語文化 漢文

対象：高1 国語科

ツール・機能：書き込み機能 (OneNote)

分類：思考活動・協働活動

ICT活用のポイント

- ▶ 書き下し文をOneNoteに記入することで、グループでの共有ができます。
(操作ミス等が無いように、入力フォームを用意しておくことが大切)
- ▶ 解説の時にスライドを使うことで、本文を板書する手間と時間を節約することができます。
- ▶ OneNoteを使うことで、画面上でリアルタイムに添削をすることができます。
- ▶ 生徒各自の端末には書き下し文を表示して添削し、電子黒板には解説を表示することで、効率的に授業を進められます。

学習の流れ

言語文化

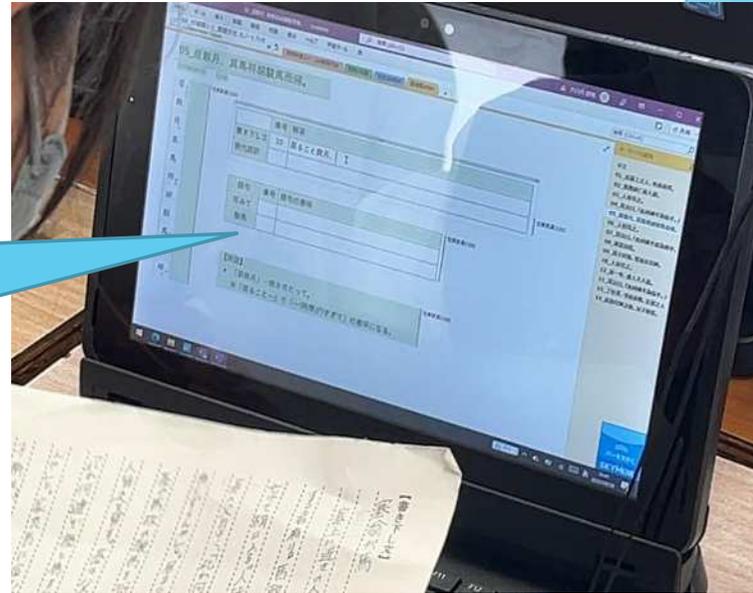
<本時の目標>

- ・グループで協力しながら書き下し文、現代語訳を検討し、反語形などの基本的な句法について理解する。

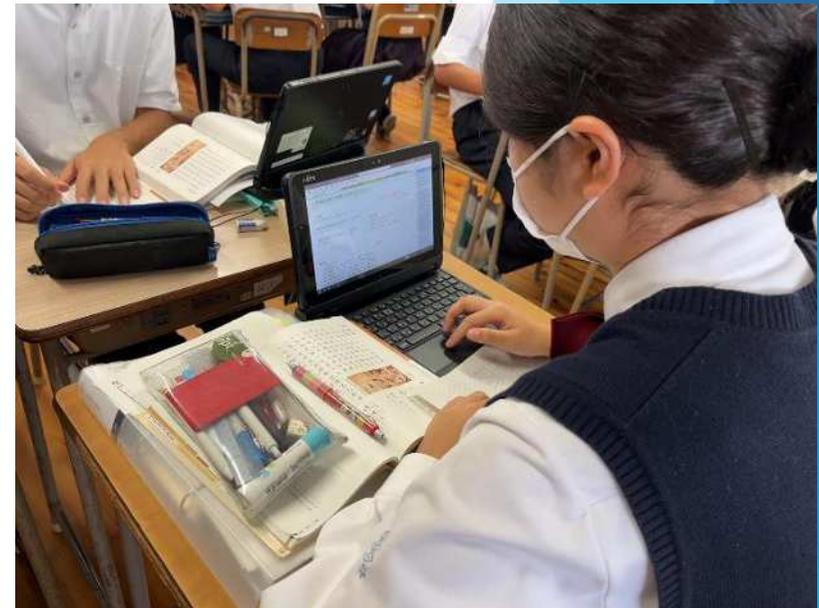
導入	展開	まとめ
<p>① あいさつ</p> <p>② 単元の目標について理解する。</p> <p>③ 本文の範読を聞きながら、書き下し文を確認する。</p>	<p>④ グループで各自の書き下し文を確認する。</p> <div data-bbox="1048 616 1368 715">活用ポイント 【書き込み機能】</div> <p>⑤ 書き下し文の各グループごとの担当割りを確認。</p> <div data-bbox="1122 788 1368 887">活用ポイント 【表示機能】</div> <p>⑥ グループごとに、OneNoteの該当ページに書き下し文を記入する。</p> <div data-bbox="1055 1003 1379 1102">活用ポイント 【書き込み機能】</div> <p>⑦ 各自の端末には、OneNoteで記述したグループごとの書き下し文を表示し、電子黒板で解説しながら正解を確認する。</p> <div data-bbox="965 1302 1397 1401">活用ポイント 【共有機能・表示機能】</div>	<p>⑧ 冒頭の三文を読み、場面や状況を理解する。</p> <p>⑨ 本時の学習のまとめと次時の学習について確認する。</p>

ここがポイント！

操作ミスをなくすため、入力フォームが設けられています。



各自OneNote
に記入した書き下し文をグループ内で確認する。
【書き込み機能】



ここがポイント！

各グループに割り当てられた部分の書き下し文を、OneNoteの該当ページに記入。グループ協働での作業。

【書き込み機能】

電子黒板でグループごとの担当部分を確認。



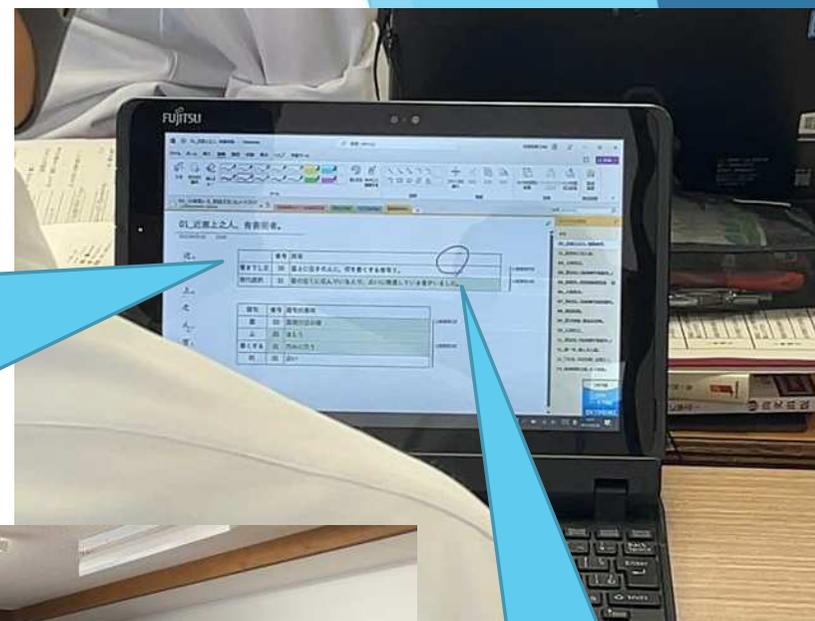
解らない漢字は辞書機能で検索。

ここがポイント！

電子黒板と端末を併用。生徒各自の端末には、OneNoteで記述したグループごとの書き下し文を表示し、電子黒板での解説を参考に正解を確認する。

【視覚情報】

全員の端末に担当したグループの記述を表示して、内容を共有。



教師からの添削もリアルタイムで表示。



解説には電子黒板を使用。